

銀杏寮



全体写真



1階



ある日のキッチン



キックアウト



寮の前で卒業写真

(1階)

はじめまして！銀杏寮1階フロア長の浅井佑人と申します。皆さんよりほんの少しだけ先輩の僕が、銀杏寮での生活についてお話したいと思います。この紹介文を読み終わったころには、きっと皆さんは気づいたら銀杏寮に住みたくなっているはずでしょう。僕自身、入学前に「ICUに入学したらこんな楽しい寮生活が待っているんだ！」とこのホームページを開いては期待に胸を膨らませていたことを鮮明に覚えています。この紹介文が、新入生の寮選びに、さらには1人でも多くの受験生にとってのモチベーションになってくれれば大変嬉しく思います。

「そもそも寮に入るのか」そして「どの寮に入るのか」は、ここICUにおいて超絶重要な決断です。『ハリー・ポッター』でもスリザリンとグリフィンドールでは寮の性格は全く違いましたよね。「銀杏じゃなくて、他の寮に入寮していたら・・・」「そもそも一人暮らしをしていたら・・・」そんな想像すら全くつかないほど、銀杏に入寮していなかったら今とは全く違うキャンパスライフになっていたと思います。そしてそんなことを想像すらしたくないほど、銀杏に入ったからこそ出会うことのできた、僕の人生においてかけがえない人たちが先輩後輩含めてたくさんいます。僕は2年前、銀杏に入寮するという決断をした自分を誇りに思います。これを読んでいるあなたも、銀杏ファミリーと共に、最高に楽しい時間を過ごしてみませんか？

さて立地や設備などについては2階3階フロア長にお任せするとして、銀杏寮1階（男子フロア）の文化的特徴を他の寮との違いを僕自身のなんとなくの体感ですが書いてみようと思います。

一言でいえば”ちょうどいい”という形容詞がしっくりきます。カナダやグロバをはじめとする旧寮は寮としての一体感があり、学生同士の距離感がとても近い印象です。一方で、新々寮はまるでホテルかのような綺麗な寮という印象。そのちょうど中間で良いところ取りをしているのが新寮です。古き良き伝統が強すぎるわけでもなく、かといって寮内の先輩や後輩との縦の関係はしっかりある。そこそこ新しいためゴキブリもあんまり出ない（これ大事）。初めての寮生活に不安を抱いている人でも安心して入っていける”ちょうどいい”環境だと思います。

最近も、入学したばかりの1年生が開いてくれたタコスパーティを起点に寮生同士の交流が生まれました。良い意味で学年関係なくフランクに仲良くなれる銀杏だからこそ、様々な個性が磨かれ合うような気がします。その他にも、月一回の大食いイベントや銀杏スウェット・パーカーの自主制作、銀杏筋トレ部など、寮生同士の会話から緩やかに立ち上がったことが、”ちょうどいい”緩さで文化として定着しています。また就活を終えた先

輩による就活指導が文化になっているため、就活相談やOB訪問にも困りません（これ地味に大事）。

銀杏寮では先に述べたような、様々なイベントがあり、それを住人だけで企画運営しています。共同生活のなかでは、ルールを守らない人がいたり、寮の設備が壊れたり、日々様々な問題が起きます。大変なことも銀杏に住む学生で解決していかなければなりません。そのため、銀杏でリーダーシップを発揮できるような学生に来てほしいと思っています。ここでいうリーダーシップとは先頭に立つのが得意な人だけではありません。国際交流が好きな人、銀杏を縁の下で支えたいという思いやりのある人、イベントを企画運営してみたい人、みんなとわいわいパーティーするのが好きな人、寂しがり屋の人などなど銀杏寮に愛着を持ってくれる人なら全員ウェルカムです。

最後に、ここまで読んでくださりありがとうございます！銀杏寮での生活について、少しでもわかって頂けたでしょうか？「ただいま、おかえり、ってきます、いってらっしゃい、おやすみ、おはよう」これらの挨拶は日常的によく聞く銀杏での会話です。でも、「血の繋がっていない人たちとこんなに近い距離で、同じ家に住んでいることは当たり前ではないな」と、ふと思ひ直します。銀杏寮に入寮して後悔することはまずないと思います。今や、僕の人生に銀杏寮という存在、銀杏で出会った家族のような先輩後輩同期の存在は欠かせないものです。そして来年の今頃は、皆さんがそう思うことになるでしょう。頼れるお兄ちゃんたちと小生意気だけど憎めない弟たち、そして苦楽を共にしてきた同期たち。みんなに囲まれて、大家族の一員として暮らす日々はとても幸せです。

それでは、皆様のご入寮を楽しみにしております！

銀杏寮 1階フロア長
浅井佑人

（2階）

皆さんこんにちは！銀杏寮2階です！

実家を出て人と暮らすってどんな感じなんだろう、寮にはどんな人がいるんだろう、たくさんの不安がありますよね。そんなみなさんに向けて、銀杏寮2階の生活と雰囲気可能な限り伝えたいと思います！

まず、銀杏寮は立地が素晴らしいです。ほとんどの授業が開講される本館やT館に近く、学校にとっても行きやすいです。ファミリーマートが本館やT館への道中にあるので、学校に行くときにご飯やおやつを買いに立ち寄ることができてとても便利です！なんと、学食は入り口の目の前にあります！

また、寮生活はみなさんの大学生生活を支えてくれること間違いなしです！実家を離れて

暮らすのが初めての方も多と思います。大学の勉強と家事を両立するのは慣れるまで大変ですよ。でも寮なら、一緒にやってくれる仲間がいます！実際私も1年生の時のELAについていくのが大変だったり、部活やバイトで疲れて大変な時がありました。そういった時に、寮で夜遅くまで課題をしたり、話をして楽しい気分になったり、本当にみんなに支えられていました。夜遅くに帰ってもキッチンやソーシャルに誰かがいて、「おかえり」といってくれます。勉強や留学、夏休みの過ごし方に困ったときは、先輩がたくさん相談に乗ってくれました。银杏寮2階の住人は、いつも近くでみなさんのことを同じように支えてくれるはずですよ！大学に入って友達ができるかなという不安もありますよね。まず寮に入ったら、先輩たちがみなさんを放っておきません！！先日新しい住人が来た時も、入寮から数日でみんな馴染んでしまって、あれ、前から住んでた？と錯覚を起こしました。それくらいに住みやすい場所ですよ！

银杏寮には楽しいイベントもあります！まず寮に入ったらウェルカムパーティーでみなさんをお迎えします。お好み焼きを作ったり、餃子をみんなで包んだりもしました！ハロウィンにはそれぞれの部屋にトリックオアトリートをしに行くイベントがあったり、寮全体でクリスマスパーティーをしたりします！料理が好きな人がたくさんいるので、手作りの料理やケーキが並びます！

最後に银杏寮2階の特徴、それはズバリ、「自由な雰囲気」にあると思っています。2階には本当に個性的な人たちが集まっていて、日々面白い場面に溢れています笑 一人ひとりが好きなことをやっていて、個性そのままに生きてるなあと感じます。みんなで仲がいいけど、一人一人が自由というのは、他の寮にはない魅力だなと感じています。またそれは、みんながルールを守ったり、話し合ったり、思いやりあったりしているからだなと思いますし、それも2階のいいところですよ！みなさんも、安心して共同生活をする事ができると思います！

银杏寮の魅力が伝わりましたでしょうか。みなさんが银杏寮に入ってくれることを寮生一同心から楽しみにしています！

银杏寮2階フロア長
阿部陽和

(3階)

みなさん、こんにちは！银杏寮3階フロア長の中村咲希です。数あるICUの寮の中から银杏寮に目を向けてくださり、ありがとうございます！私も皆さんと同じようにホームページを見て、各寮の雰囲気や自分が暮らしている様子を想像しながら寮を選んでいたことを覚えています。この文章を通して、少しでも银杏寮、そして3階の雰囲気が伝われば嬉しいです。

まず、银杏寮3階の一番の特徴は、一人の時間とみんなと過ごす時間のバランスが取れていることだと思います。寮と聞くと、「毎日パーティーのように騒がしいのではないかな」

「夜遅くまで仲間と話し続けてしまうのではないか」といった印象や、勉強に集中できないのではと不安に思う方もいるかもしれません。実は私も入寮前は同じように感じていました。しかし、3階にはオンとオフのメリハリがある雰囲気があり、仲間と過ごす時間と自分のための時間をバランスよく確保することができます。また、ELA や課題についても、上級生が下級生に教えたり、下級生が上級生に質問したりと、寮生活ならではの縦のつながりを活かしながら協力して取り組んでいます。明るく、優しく、おもしろい人が多い一方で、内面は真面目で、それぞれがしっかりとした軸を持っているのが3階の特徴です。

次に、3階のメンバーについて紹介します。現在、3階には37人の学生が暮らしており、下級生になるにつれて1学年あたりの人数が多くなっています。その中には、毎年入れ替わりで海外からの留学生も数名含まれています。そのため、人によっては英語でコミュニケーションを取る機会もありますし、日本語を学んでいる学生にとっては、日本人との会話が実践的な練習の場にもなっています。レギュラー生・留学生の双方にとって、学習言語を実際に使うことのできる環境です。また、複数の部活やサークル、アルバイトを掛け持ちしながら、勉強以外にも積極的に取り組んでいる人が多いのも特徴です。お互いに良い刺激を受けながら、私自身もアルバイトにしっかり向き合うことができます。一人暮らしでは得がたい、人とのつながりや仲間の存在を感じられるのも、寮生活ならではの魅力だと思います。

休みの日には、テレビの前でくつろいだり、ソファで談笑したり、料理に挑戦したり、外出したりと、それぞれが充実した時間を過ごしています。もちろん、しっかり休息を取ることも大切なので、お昼頃までゆっくり眠っている人もいます。誰かの誕生日にはソーシャルルームでパーティーを開くこともあり、寮に入ってから、週末を迎えるのがより楽しみになりました。

最後に、银杏寮ならではの魅力として、ロケーションの良さを紹介します。食堂までは徒歩20秒、本館までは5分以内、構内のファミリーマートまでも3分以内という、非常に便利な立地です（寮生あるあるですが、余裕を持ちすぎて授業に遅刻してしまう人も少なくありません（笑））。通学時間がほとんどかからない分、趣味やサークル、部活、勉強により多くの時間を使うことができます。授業後に疲れてもすぐに寮に戻れるありがたさを、日々実感しています。

ここまで読んでくださり、ありがとうございます！いかがでしたか？文章だけで银杏寮の雰囲気をすべてお伝えするのは難しいですが、少しでも寮選びの参考になれば嬉しいです。皆さんと银杏寮で一緒に暮らせる日を、心から楽しみにしています。

银杏寮3階フロア長
中村咲希